

## 審査に当たっての着目点（案）

### （1）大学の改革構想における位置付け・戦略

- ・大学全体の中長期的な改革構想の中で、戦略的なものとして位置付けられているか。
- ・学長を中心としたマネジメント体制が明確に位置付けられているか。
- ・学位プログラムの構築によって学内外の大学院教育への波及効果が期待できるか。
- ・「どのような分野で活躍し、いかなる価値の創造、人類社会の課題解決を牽引するリーダーを養成するか」という人材養成像及び解決すべき課題の設定は明確か。

### （2）学位プログラムとしての発展性・卓越性

- ・国内外の優秀な学生を、俯瞰力と独創力を備え広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーへと導く、一貫した学位プログラムが構想されているか
- ・コースワークや複数専攻制、分野を超えた研究室ローテーションなど専門分野の枠を超え知の基盤を形成する体系的教育と修得能力を包括的に評価する仕組みが設定されているか。
- ・優秀な学生に専門分野の枠にとらわれない独創的な研究を实践させ、国内外の多様なセクターからの第一級の教員と緊密に議論する密接な研究指導が設定されているか。
- ・グローバルに活躍するリーダーを養成する観点から、海外の優秀な学生の受入れ、英語によるカリキュラム、一定期間の海外派遣などの工夫がなされているか。

### （3）産・学・官参画による修了者の活躍の実現性

- ・人材養成目的に関わる産・学・官等の機関又は団体がプログラムの企画段階から参画し、国内外の学生のキャリアパスの確立までの見通しのあるプログラムが構築されているか。
- ・産学の共同研究プロジェクトへの参加やPBL、一定期間のインターンシップなど実践性を備えた効果的な研究訓練等の機会が設定されているか。
- ・国外の大学等機関との共同研究、インターンシップ、学生・教員交流など、海外大学等とのネットワークによる国際性を備えた研究訓練等の機会が設定されているか。

### （4）優秀な学生を選抜・獲得し切磋琢磨させる環境

- ・明確な入学者受入方針に基づき、多様な背景を持つ国内外の優秀な学生を獲得するための開かれた公正な入学者選抜の工夫がなされているか。学位プログラム所属学生を入学後に選抜する場合は、当該選抜においても上記の観点の工夫がなされているか。
- ・多様な背景を持つ国内外の優秀な学生が切磋琢磨し刺激し合う魅力ある学修研究環境が構築されているか。
- ・上記の体系的教育を経た学生が、自らの可能性に挑み、専門分野の枠にとらわれない独創的な研究計画、学修研究を实践させるための工夫がなされているか。
- ・優秀な外国人や社会人の受け入れを促進するための工夫や配慮がなされているか。
- ・国内外の優秀な学生が学修研究に専念できる経済的支援がなされているか。

#### (5) 優れた教育・研究指導体制

- ・専門分野の枠を超え国内外の多様なセクターから第一級の教員を結集した密接な教育研究指導体制が構築されているか。
- ・優秀な学生に対するきめ細かい履修支援を行う学生指導教員（メンター）やTAの活用など組織的な教育研究指導の支援体制が設定されているか。
- ・専門分野の枠を超えて、学位課程を担当する教員間の綿密な協議に基づき、修得すべき知識・能力を具体的・体系的に示し、組織的な教育研究指導体制が設定されているか。

#### (6) 世界に通用する確かな質保証システム

- ・リーダーとなるに相応しい資質能力を保証する開かれた博士号授与に係る学位審査体制が設定されているか。
- ・Qualifying Examination などによる基礎的能力の包括的な評価やリサーチプロポーザルの審査など確かな質保証システムが構築されているか。
- ・明確な成果目標、評価指標の設定、事業の進捗状況をできる限り国際的な見地から外部評価する仕組みが設定されているか。

#### (7) 卓越した教育研究実績・資源

- ・学位プログラムを担う教員が世界を牽引するリーダーの養成に必要な教育力を有しているか。
- ・学位プログラムを担う教員が高い研究力を有しているか。
- ・学位プログラムに関係する専攻等の組織が、優れた教育研究拠点としての実績を有しているか（COE、科研費等の競争的資金獲得実績、卓越した人材の輩出と受入の実績等）。
- ・イノベーションによる価値の創造、人類社会が直面する課題の解決に導く研究活動が設定されているか。

#### (8) 事業の実効性・発展性

- ・人材養成目的や解決すべき課題の設定、修得目標、プログラム実施の評価指標等が明確で、事業が達成できる見込みがあるか。
- ・大学の中長期的な改革構想に基づき、7年間の支援期間終了後も、構築された学位プログラムの継続性・発展性が見込めるものであるか。

#### (9) 事業の妥当性・適切性

- ・申請経費の内容は妥当であり、計画上必要不可欠なものか。
- ・【複数のプログラム担当者がグローバルCOEプログラムに参画する構想のみ】グローバルCOEプログラムで期待される成果が十分得られているか。
- ・【他の大学や機関と連携する構想のみ】連携機関同士の役割分担が明確になっているか。
- ・【オンリーワン型のみ】当該大学で最も国際的優位性を有する領域の、世界的に独自の優れた資源を生かしたプログラムとなっているか。